

《担当者名》高橋 亮 ryotakahashi@hoku-iryo-u.ac.jp

【概 要】

この講義では、高等学校福祉科教諭に必要とされる知識や技術について、模擬授業をとおして実践的に概説する。

【学修目標】

福祉科における教育目標、育成を目指す資質・能力、福祉科の学習内容について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。また、以下の項目に関する理解を通じて、実際に授業を行なう際に必要とされる知識と技能の習得を目標とする。

- ①教科「福祉」創設の意義と目的について理解する。
- ②学習指導要領における教科「福祉」の目標および主な内容、全体構造を理解する。
- ③教科「福祉」と高等学校福祉科の位置づけについて理解する。
- ④教育課程の意義及び編成、ならびに指導法や評価法について理解する。
- ⑤教科「福祉」の各科目の目標及び内容ならびに指導法について理解する。
- ⑥教材研究の方法について理解する。
- ⑦福祉科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。
- ⑧発展的な学習内容について探求し、学習指導への位置づけを理解する。
- ⑨授業の展開過程及び学習指導案の作成方法について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義計画の概要や学習方法等について理解する。	高橋
2	学習指導要領と高等学校	①学習指導要領の性格及び内容、②高等学校の教育課程、③高等学校の教育課程の編成方法を理解する。	高橋
3	教科「福祉」の意義と目的	①福祉教育の変遷過程と現代社会における意義、②教科「福祉」創設の背景、③教科「福祉」の概要及び創設の経緯を理解する。	高橋
4	教育課程の編成	①福祉科の目的と役割、②教科「福祉」の科目構成及び教育課程の編成を理解する。	高橋
5	学習指導計画と教育法	①学習指導計画の意義、②学習指導計画の作成方法、③学習指導案の意義、④学習指導案の作成方法、⑤情報機器及び教材の効果的な活用方法と授業設計への活用を理解する。	高橋
6	教材研究の方法	①重点指導項目の精選、②素材の教材化、③他の学習内容との関連性を理解する。	高橋
7	教育評価	教育評価の意義と方法を理解する。	高橋
8	職業指導・進路指導と福祉関連資格	職業指導・進路指導と福祉関連資格の概要を理解する。	高橋
9	各科目の目標・内容・教材研究 - 「社会福祉基礎」Ⅰ	①科目の目標及び内容、②学習指導計画、③教材研究、④指導案作成、⑤情報機器及び教材の効果的な活用法と授業設計への活用、⑥評価法について理解する。	高橋
10	各科目の目標・内容・教材研究 - 「社会福祉基礎」Ⅱ	グループによる模擬授業の展開 - 教材研究・学習指導案の作成（含む情報機器及び教材の活用法）・授業展開の一連の流れについて理解する。	高橋
11	各科目の目標・内容・教材研究 - 「介護福祉基礎」Ⅰ	①科目の目標及び内容、②学習指導計画、③教材研究、④指導案作成、⑤評価法について理解する。	高橋
12	各科目の目標・内容・教材研究 - 「介護福祉基礎」Ⅱ	グループによる模擬授業の展開 - 教材研究・学習指導案の作成・授業展開の一連の流れについて理解する。	高橋
13	各科目の目標・内容・教材研究 - 「コミュニケーション技術」Ⅰ	①科目の目標及び内容、②学習指導計画、③教材研究、④指導案作成、⑤評価法を理解する。	高橋
14	各科目の目標・内容・教材研究 - 「コミュニケーション技術」Ⅱ	グループによる模擬授業の展開 - 教材研究・学習指導案の作成・授業展開の一連の流れをについて理解する。	高橋

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		る。	
15	小括	①前期のまとめを整理できる。②今後の学習の進め方を整理できる。	高橋
16	各科目の目標・内容・教材研究 - 「生活支援技術」Ⅰ	①科目の目標及び内容、②学習指導計画、③教材研究、④指導案作成、⑤評価法の理解。	高橋
17	各科目の目標・内容・教材研究 - 「生活支援技術」Ⅱ	グループによる模擬授業の展開 - 教材研究・学習指導案の作成（含む情報機器及び教材の活用）・授業展開の一連の流れについて理解する。	高橋
18	各科目の目標・内容・教材研究 - 「介護過程」Ⅰ	①科目の目標及び内容、②学習指導計画、③教材研究、④指導案作成、⑤情報機器及び教材の効果的な活用法と授業設計への活用、⑥評価法を理解する。	高橋
19	各科目の目標・内容・教材研究 - 「介護過程」Ⅱ	グループによる模擬授業の展開 - 教材研究・学習指導案の作成・授業展開の一連の流れについて理解する。	高橋
20	各科目の目標・内容・教材研究 - 「介護総合演習」Ⅰ	①科目の目標及び内容、②学習指導計画、③教材研究、④指導案作成、⑤情報機器及び教材の効果的な活用法と授業設計への活用、⑥評価法を理解する。	高橋
21	各科目の目標・内容・教材研究 - 「介護総合演習」Ⅱ	グループによる模擬授業の展開 - 教材研究・学習指導案の作成・授業展開の一連の流れについて理解する。	高橋
22	各科目の目標・内容・教材研究 - 「介護実習」Ⅰ	①科目の目標及び内容、②学習指導計画、③教材研究、④指導案作成、⑤評価法を理解する。	高橋
23	各科目の目標・内容・教材研究 - 「介護実習」Ⅱ	グループによる模擬授業の展開 - 教材研究・学習指導案の作成・授業展開の一連の流れについて理解する。	高橋
24	各科目の目標・内容・教材研究 - 「こころとからだの理解」Ⅰ	①科目の目標及び内容、②学習指導計画、③教材研究、④指導案作成、⑤評価法を理解する。	高橋
25	各科目の目標・内容・教材研究 - 「こころとからだの理解」Ⅱ	グループによる模擬授業の展開 - 教材研究・学習指導案の作成・授業展開の一連の流れについて理解する。	高橋
26	各科目の目標・内容・教材研究 - 「福祉情報活用」Ⅰ	①科目の目標及び内容、②学習指導計画、③教材研究、④指導案作成、⑤評価法を理解する。	高橋
27	各科目の目標・内容・教材研究 - 「福祉情報活用」Ⅱ	グループによる模擬授業の展開 - 教材研究・学習指導案の作成・授業展開の一連の流れについて理解する。	高橋
28	福祉科の展望と課題Ⅰ	福祉人材対策の今後の課題について理解する。①	高橋
29	福祉科の展望と課題Ⅱ	福祉人材対策今後の展望について理解する。②	高橋
30	総括	全体の要点を整理できる。今後の課題を整理できる。	高橋

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

・以下の項目により、総合的に評価する。

①提出課題50%、②模擬授業50%

【教科書】

文部科学省：高等教育学習指導要領解説 - 福祉編。海文堂出版，最新版。

【参考書】

文部科学省：高等教育学習指導要領。東山書房，最新版。

文部科学省：高等教育学習指導要領 - 総則編。東山書房，最新版。

日本介護福祉学会編纂委員会編：介護福祉学事典。ミネルヴァ書房，2014年

その他、必要と思われるものは、講義の際に適宜指示する。

【備考】

この講義は、受講者が作成した提出課題を副教材として展開される。

【学修の準備】

この講義を受講するためのレディネスとして、以下の事柄が必要である。

①新聞やニュースで取り上げられる社会福祉・社会保障問題に関心を持ち、自分なりに深く考えてみる。

②新聞やニュースで取り上げられる教育問題に関心を持ち、自分なりに深く考えてみる。

※講義で提示する課題に関して、事前・事後学習（予習復習4時間）に取り組むこと。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教科及び教科の指導法に関する科目」の「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用法を含む。）」に該当する。

【実務経験】

高等学校教員

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験を活かした実践的な教育を行う。